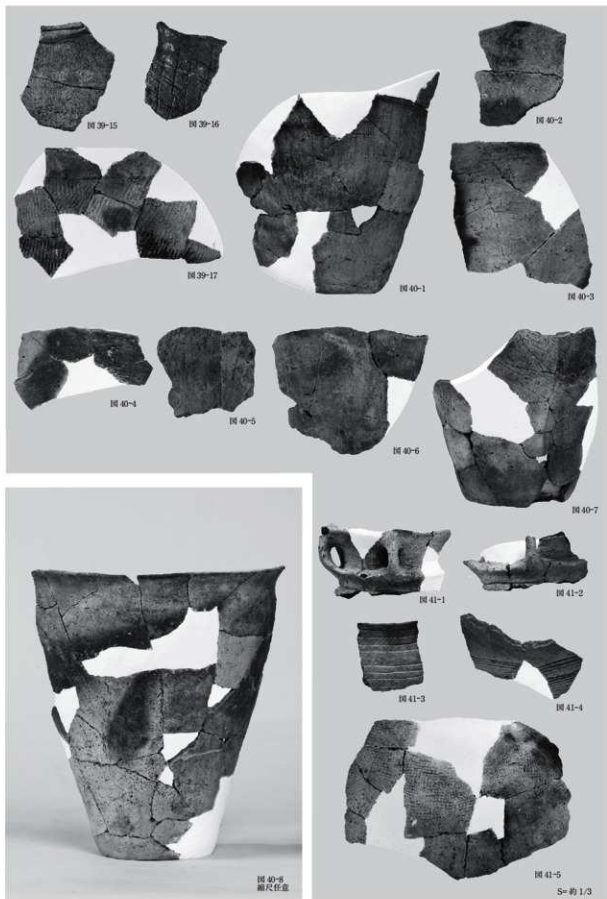
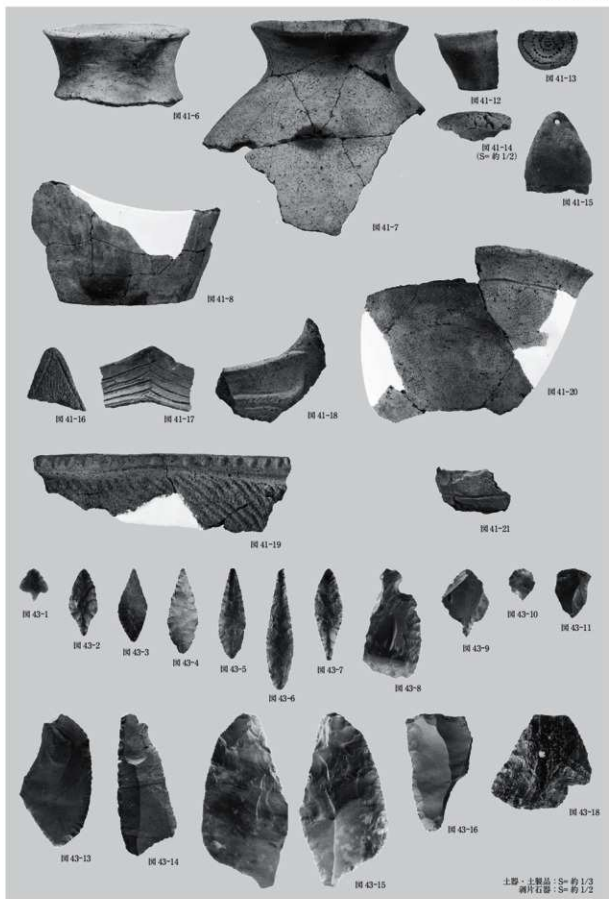


B 区遺構外出土遺物



写真図版 18



写真图版 19

B 区遺構外出土遺物



写真図版 20

報告書抄録

ふりがな	さきこかっこにいせき							
書名	笹子(2)遺跡							
副書名	一般国道45号八戸南環状道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告							
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第480集							
編著者名	中村 哲也 三浦 一範							
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒038-0042 青森市新城市天田内152-15 TEL 017-788-5701							
発行機関	青森県教育委員会							
発行年月日	西暦2010年3月29日							
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	日本測地系 (Tokyo Datum)		調査期間	調査面積	調査原因
笹子(2)遺跡	青森県八戸市大字根城字笹原28-3、ほか	22039	203102	北緯	東経	20050906	1,900㎡	一般国道45号八戸南環状道路建設事業に伴う事前調査
				40° 27' 59"	141° 28' 01"	20051021		
				世界測地系 (JGD2000)		20080423	6,100㎡	
				北緯	東経			
40° 28' 09"	141° 27' 48"							
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
笹子(2)遺跡 A区	集落	縄文時代 中期末葉～ 後期初頭	土坑	2基	縄文土器・石器			
	集落	縄文時代	剥片集石遺構	1基				
	生産	平安時代	灰窯	1基				
B区	散布地	縄文時代 早期中葉～	土坑 (陥穴)	3基	縄文土器 (早期末葉～ 前期初頭)			
	生産	前期前半						
	集落	中期末葉～ 後期初頭	住居跡	1軒	縄文土器・石器			
	集落	中期末葉～ 後期前葉	埋設土器遺構	1基				
	集落	中期末葉～ 後期前葉	住居跡	1軒				
	散布地	後期前葉			縄文土器・石器			
	生産	前期後半以降	溝状土坑	11基				
	集落	時期不明	焼土	3基				
散布地	弥生時代			弥生土器				
散布地	近世			陶磁器				
<p>要約</p> <p>笹子(2)遺跡は、八戸市中心部から南方に約5Kmの段丘上に位置する。標高は100m前後である。平成17年(2005年)・平成20年(2008年)に発掘調査を実施した結果、縄文時代早期末葉～前期初頭、中期末葉～後期前葉、弥生時代・平安時代の遺物が確認された。縄文時代早期後半～前期前半のいずれかの時期、および縄文時代前期後半～晩期のいずれかの時期には陥穴が構築され、狩猟場として利用されたと考えられる。縄文時代中期末葉～後期前葉には住居跡・土坑・土器埋設遺構などが検出され、集落が営まれていたと考えられる。平安時代には、単独の灰窯が構築されており、生産の場として利用されていた。</p>								

青森県埋蔵文化財調査報告書 第480集

笹子(2)遺跡

—一般国道45号八戸南環状道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

発行年月日 2010年3月29日

発行 青森県教育委員会
〒030-0801 青森市新町二丁目3-1

編集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森市大字新城字天田内152-15
TEL. 017-788-5701 FAX. 017-788-5702

印刷 不二印刷工業株式会社
〒030-0902 青森市合浦一丁目10-16
TEL. 017-741-5439 FAX. 017-741-2541



活彩あおり